

くぬぎのまりの どきどきはっぴうかい

ふくざわ ゆみこ



どんぐりが みどりから ちゃいろに かわるきせつです。

ある あさ くぬぎのこうちょうせんせいが いいました。

「1つきご、りすのがっこうで はっぴうかいを ひらきます」

「じぶんの すきなものや とくいなことを
みんなの まえで はっぴょうしましょう」
めだちたがりの ぐるりんは、いちばんまへの せきで おおはりきり。
「わぁ！ たのしそう。ぼく、いっぱい はくしゅ もらうんだ」
「なにを はっぴょうしようかな」うでを くんだのは、しいちゃん。
「ぼく、もう きーめた」と、ふわふわしっぽの ふわさん。
「たのしみ～」ぼんちゃんは、ぐう～と おなかを ならして したなめずり。
はずかしがりやの ちいちゃんだけは、
すみっこで じぶんの しっぽに かかれて こまりがお。



「みんなは なにを するのかな？」

ぐるりんは、まずは ふわふわしっぽの ふわさんに きいてみました。

「ぼく、おえかきが すきだから おおきな えを かこうとおもうの。

でも、かきたいものが いっぱいで なにを かくのか きまらなくて」

ふわさんの スケッチブックを みて、ぐるりんは びっくり。

「うわあ、じょうず。ぼくには とても かけないや」



つぎは、まじめな しいちゃんに きいてみました。

「ぼくは、もぐらせんせいの しょくぶつの じゅぎょうが すきですが、さんすうも とくいです。

どちらも いかした けんきゅうを はっぴょうしたいと おもいます」

ぐるりんは、あたまを かかえて いいました。

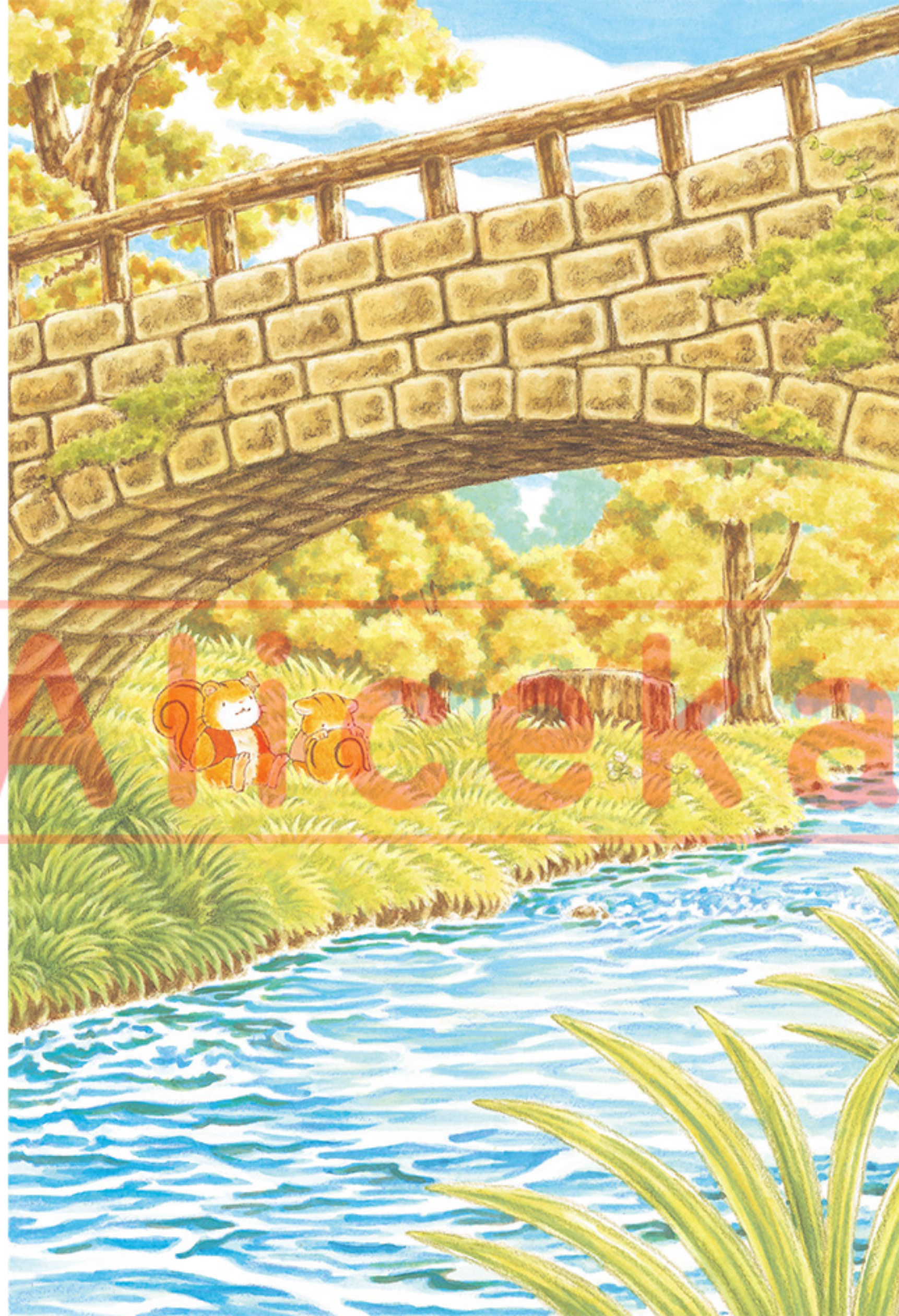
「うわあ、なんだか とっても むずかしそう。ぼくには むりだよ」



ぐるりんが きがつくと、
ちいちゃんは はずかしがって すぐに
うたうのを やめてしまいました。



ぐるりんが ちいちゃんの となりに
すわると、ちいちゃんが いいました。
「ぼく、うたが すきな。でも、
みんなの まえに たったら きつと
うたが のどに つっかえちゃう」
ちいちゃんは そうぞうしただけで
ふるえています。



「うーん… ちいちゃんの とくいなのは、
かくれんぼと、うた。
そうだ！ ぼく、いいこと かんがえちゃった。
…あのね…」
ぐるりんの はなしを きくと、
ちいちゃんは おどろいた かおをして…



じぶんから ぐるりんの かおを
みつめて いいました。
「それなら、できるとおもう…！」

